

# 薬剤部からのお知らせ

2022年9月9日

## ◆採用切り替え薬品

※※2022年9月28日(水)より製造中止のため採用切り替えになります(下記薬品)※※

チザニジン錠1mg「NPI」	⇒	テルネリン錠1mg
----------------	---	-----------

### 1249〈筋緊張緩和剤〉

テルネリン錠1mg Ternelin <b>【規格】</b> 1mg <薬価> 11.00円  サンファーマ株式会社	チザニジン塩酸 塩	<b>【効能・効果】</b> 1. 下記疾患による筋緊張状態の改善 頸肩腕症候群、腰痛症 2. 下記疾患による痙性麻痺 脳血管障害、痙性脊髄麻痺、頸部脊椎症、脳性(小児)麻痺、外傷後遺症(脊髄損傷、頭部外傷)、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症  <b>【用法・用量】</b> 1. 筋緊張状態の改善の場合 通常成人には、チザニジンとして3mg(錠剤の場合3錠、顆粒剤の場合1.5g)を1日3回に分けて食後に経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。 2. 痙性麻痺の場合 通常成人には、チザニジンとして1日3mg(錠剤の場合3錠、顆粒剤の場合1.5g)より投与を始め、効果をみながら1日6～9mg(錠剤の場合6～9錠、顆粒剤の場合3～4.5g)まで漸増し、1日3回に分けて食後に経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。
---	--------------	--

AZ含嗽用配合細粒「NP」	⇒	AZ含嗽用配合顆粒「ニプロ」
---------------	---	----------------

### 226〈口腔・咽頭疾患含嗽剤〉

AZ含嗽用配合顆粒 AZ <b>【規格】</b> 0.1%1g <薬価> 6.10円  ニプロ株式会社	アズレンスルホン酸ナトリウム水和物	<b>【効能・効果】</b> 咽頭炎、扁桃炎、口内炎、急性歯肉炎、舌炎、口腔創傷  <b>【用法・用量】</b> 通常1回1包(2g)を、適量(約100mL)の水又は微温湯に溶解し、1日数回含嗽する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
--	-------------------	--

エパルレスタット錠50mg「武田テバ」	⇒	エパルレスタット錠50mg「サワイ」
---------------------	---	--------------------

### 3999〈アルドース還元酵素阻害剤〉

エパルレスタット錠50mg EPALRESTAT <b>【規格】</b> 50mg1錠 <薬価> 27.00円  沢井製薬株式会社	エパルレスタット	<b>【効能・効果】</b> 糖尿病性末梢神経障害に伴う自覚症状(しびれ感、疼痛)、振動覚異常、心拍変動異常の改善(糖化ヘモグロビンが高値を示す場合)  <b>【用法・用量】</b> 通常、成人にはエパルレスタットとして1回50mgを1日3回毎食前に経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。
--	----------	--